展示会出展ブラッシュアップサポート（中小機構中部本部）

エントリーシート

|  |
| --- |
| **１．申請者情報** |
| 企業名 | 　 |
| 所在地 |  |
| 代表者役職・氏名 | 　 |
| 連絡担当者役職・氏名 |  |
| 担当者電話番号 | 　 | 担当者メールアドレス |  |
| **２．認定・補助金交付を受けたサポインまたはGo-Tech研究開発について** |
| 研究実施年度(実施期間中の案件については、終了年次は予定で記載) | 　　年度　～ 　　　　　年度 |
| 研究テーマ名 | 　 |
| 研究開発の概要 |  |
| 事業化した（する予定の）研究開発成果についての市場性・優位性について |  |
| 研究開発成果について、想定している川下分野や企業名、サポイン成果をアピールしたい先 |  |
| 事業化状況（該当項目に○を記入） | 　・継続研究中：　補助事業は完了したが、現在補完研究中。　・実用化段階：　製品・サービスの試作・評価を行っている。　・事業化第一段階：　製品としてリリース可能な状態。宣伝活動等を行っている。　・事業化第二段階：　注文（サンプル注文、サービスのトライ等を含む）が取れている。　・事業化第三段階：　製品が一つ以上販売されている。　・事業化第四段階：　販売実績があるが利益は上げていない　・事業化第五段階：　販売実績があり利益を上げている。 |
| サポイン・Go-Tech事業の社内的位置づけ・事業成果の販路開拓に係る社内体制 |  |
| 研究開発成果の販路開拓に向け、今までの自社での取り組み内容・実績（自由記載） |  |
| 販路開拓に向けた支援ツールの活用実績（該当項目に○を記入） | ※サポイン・Go-Tech事業成果に限らず、中小機構が運営する販路開拓支援ツール、マッチングポータルサイト「J-GoodTech（ジェグテック）」の活用の利用有無について該当する項目に○を付けてください。　・大企業ニーズへの返信、情報ボード、トピック掲示板への起票もしくは返信等、　　マッチングへの活用実績がある。　・マッチング機能の実利用はしていないものの、利用登録済みである。　・今後、登録申請をする予定である。　・登録の予定は無い。 |
| **３．展示会出展ブラッシュアップサポートについて** |
| ・特に希望する専門家派遣における支援・助言テーマがあれば記載してください。 |  |
| 出展予定展示会名 | 　 |
| 展示会開催場所（都道府県） | 　 |
| 出展希望展示会開催日 | 　　　年　　月　　日～　　年　　月　　日（○○日間） |
| 展示会選択理由： |
| 展示予定内容： |

【本事業に関する申込み・問合せ先】※申込みは原則E-mailでの受付のみとなります。

提出先：独立行政法人中小機構基盤整備機構中部本部　ものづくり企業支援　担当

E-mail：sapoin-net@smrj.go.jp

（ＴＥＬ：052-220-0516　／　ＦＡＸ： 052-220-0517）

注意事項等

【個人情報のお取り扱いについて】

ご提供いただきました個人情報は、機構のプライバシーポリシーに則り、適切な管理をおこない、当機構が実施する事業

以外には使用いたしません。

法令に基づく開示請求がある場合、また本人の同意がある場合やその他の特別な理由がある場合を除き、第三者に提供

いたしません。

機構の個人情報保護の取り組みについての詳細は下記ＵＲＬをご参照下さい。

<http://www.smrj.go.jp/kikou/appd/index.html>

反社会的勢力ではないことの表明及び確約事項

**Ⅰ．当社は、現在、次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約します。**

１．暴力団　 　２．暴力団員　 　３．暴力団準構成員　 　４．暴力団関係企業

５．総会屋等 　６．社会運動等標ぼうゴロ　　　７．特殊知能暴力集団等

８．前各号に掲げる者と次のいずれかに該当する関係にある者

（イ）前各号に掲げる者が自己の事業または自社の経営を支配していると認められること。

（ロ）前各号に掲げる者が自己の事業または自社の経営に実質的に関与していると認められること。

（ハ）自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を与える目的をもって前各号に掲げる者を利用したと認められること。

（ニ）前各号に掲げる者に資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められること。

（ホ）その他前各号に掲げる者と役員または経営に実質的に関与している者が、社会的に非難されるべき関係にあると認められること。

**Ⅱ．自らまたは第三者を利用して次の各号に該当する行為を行わないことを確約します。**

１．暴力的な要求行為

２．法的な責任を超えた不当な要求行為

３．取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為

４．風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて機構の信用を棄損し、または機構の業務を妨害する行為

５．その他の前各号に準ずる行為

**Ⅲ．上記Ⅰ．のいずれかに該当し、もしくはⅡ．のいずれかに該当する行為をし、またはⅠ.に基づく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合には、派遣を中止されても異議申し立てを行いません。**

令和　　　年　　　月　　　日

**＜申込企業＞**

**企業名**

**代表者氏名**